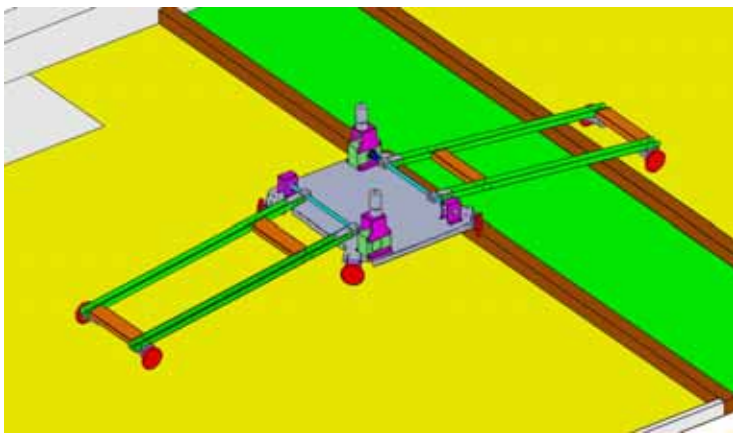


チーム名 & ロボット名	参加者 名簿
ワカゴボウチーム 若ごぼうチーム	チーム代表者: <sup>タカマツ タカシ</sup> 高松 隆
	チーム監督者: <sup>ノハラ タカシ</sup> 延原 高志
	<sup>スズキ ケンゾウ ツカモト カツタカ ノハラ タカシ タカマツ タカシ タカマツ シゲル</sup> 鈴木 謙三、塚本 勝孝、延原 高志、高松 隆、高松 成 <sup>フクダ ヨシヒロ オカイ ヨシオ セオ カズナリ ミズタニ ヨウスケ ナカハラ ヨシユキ コシバ タカフミ</sup> 福田 吉宏、岡井 芳夫、瀬尾 和成、水谷 陽亮、中原 祥幸、小柴 孝文 <sup>ウエムラ トミナリ タニグチ ミノル ノムラ ヒデオ オオシマ イッペイ タカギシ コウヘイ タノウエ カズオ</sup> 上村 富成、谷口 実、野村 秀夫、大島 逸平、高岸 航平、田之上和億 <sup>ハヤシ ハルヒコ</sup> 林 晴彦、



ロボット製作費	¥200,000
ロボットの大きさ	550X550X985
ロボットの重量	15 kgs
<b>特 徴</b>	
展開時に、2メートルを超えます。 オムニホイールで、機敏な動き 谷を渡るときに本体が宙に浮く オブジェは、エアにより吸着 アームは昨年のロボットの構造を元に設計	

製作時のエピソード（苦労話・話題など）

<sup>ゲンザイ</sup>現在のアイデアは、<sup>ハジ</sup>最初のアイデアに近いです。<sup>チカ</sup>途中、より複雑な機構のロボットを目指そうとしましたが、<sup>メザ</sup>パフォーマンスの面白さだけで、<sup>オモシロ</sup>得点が取れそうになく、<sup>トクテン</sup>旧Q太郎チームのアドバイス（<sup>ト</sup>動くだけのパフォーマンスでは、<sup>タイカイゴ</sup>大会後ドツと疲れだけが残るよ）に納得し、<sup>ツカ</sup>より確実な元のアイデアに戻りました。今年では会社の仕事<sup>ノ</sup>が忙しすぎて、<sup>ト</sup>取り掛かるまでに<sup>ジカン</sup>時間がかかり、<sup>シア</sup>仕上がるかどうか、ハラハラしました。<sup>ホンタイ</sup>本体を持ち上げるために<sup>モ</sup>に使われているギアボックスが<sup>キョウリョク</sup>強力なために、<sup>ツカ</sup>パワーがありすぎ、<sup>ヘンケイ</sup>変形してしまいます。<sup>ネモト</sup>根本固定のねじが、<sup>キ</sup>切れたり、<sup>ノ</sup>伸びたり、<sup>ホキョウ</sup>補強に苦勞しました。<sup>ホンバン</sup>本番までに筐体を強化し、<sup>キョウタイ</sup>見た目をましにしたいと思ひます。<sup>ミ</sup>昨年のメンバーだった<sup>チュウガクセイ</sup>中学生2人に今年も入ってもらひ、<sup>ソウジュウ</sup>操縦を担当してもらひます。